

チョバーンカ

町の基本情報

私はチョバーンカについて紹介したいです。チョバンカはペシュト県にある村で、人口は 3175 人（2011 年現在）です。ブダペストから北に 25 km でポマーズという街の隣にあります。ブダペストからだ H5 郊外電車（Hévíz）をポマーズまで乗り、ポマーズからは 855 番のバスに乗るとチョバーンカまで行くことができます。H5 郊外電車はバッチャーニ広場駅からセンテンドル行きに乗ります。ポマーズはバッチャーニ広場から 14 番目の駅で、32 分ぐらいで着きます。855 番のバスはポマーズ駅の前から出発し、チョバーンカまで 15 分ぐらいかかります。



町の名前の由来

チョバンカの名前が最初に記録に登場したのは 1177 年です。その時はスバヌス (ssubanus) という名前でした。その後 17 世紀にチョバーンカとなりました。村の名前は羊飼 (Pásztor, イラス語でスパン) から来ています。

町の歴史

チョバーンカには、ローマ時代から人が住んでいたと言われています。13 世紀に、シトー会が領主になりました。そしてブドウ栽培で村が栄えました。

トルコに支配された時代には人がいなくなりました。その後、17 世紀にセルビア人やドイツ人が町に移り住みました。18 世紀にロマも入りました。

第二次世界大戦まで、チョバンカの人口のほとんどはドイツ人でしたが、1946 年にドイツ人の多くがドイツに移住し、セルビア人はユーゴスラビアに移住しました。その代わりにスロバキアの高原と低地から人が村に入りました。



マルギット林の宮殿

現在、中欧のボーイスカウト公園とマルギット林の宮殿などが有名です。しかしとても小さい村だから、有名な場所はあまりありません。チョバンカは谷があるから、人々はチョバーンカにハイキングをするために来ます。

町の有名人

現在、チョバーンカで有名な人が住んでいません。Ⓜ

ピヴァール・イグナツはチョバーンカに生まれました。ピヴァール・イグナツはヴァーツで耳が聞こえない人達や言葉が話せない人達のための施設を作りました。後でブダペストの耳が聞こえない人達の国の施設の院長になりました。

町の名所

ボーイスカウト公園

中欧のボーイスカウト公園は若者の観光客向けの宿泊地とキャンプ場です。2002年に古い建物を改装しました。改装した家は寄付金をしたサタイ・イエノー博士の名前がつけられています。公園は毎日開いています。



宮殿



マルギット林の宮殿はデラ小川の隣にあります。マルチン・サーンドル医者が1898年から1899年にかけて保養所を建てました。この建物はこの地で亡くなった奥様の名前がつけられています。1909年にウェッテンステイン・ジョーセフが買って、肺臓病患者の保養所に改造しました。1917年以降は軍事的な孤児院として存在しまし

た。1950年以降は特別支援教育施設です。宮殿に入ることはできません。